

令和元年度 学校評価報告書

【合い言葉】 「 自 立 へ の 道 程 (みち) 」

【教育目標】 主体的に物事に取り組み、様々な他者とのつながりを通して自らを高め、未来を切り拓くことのできる生徒を育てる。

【教育方針】 (1) 生徒の進路目標を早期に確立させ、その実現を支援する。(進路保障)

(2) 基礎基本に基づいた確かな学力を育成する。(学力保障)

(3) 豊かな人間性を養い、これからの社会をたくましく生き抜く力を育成する。(資質保障)

【重点目標】 (1)進路保障 ① よりよい社会を創るという目標を共有し、自己の将来の在り方・生き方を考える機会を通じて早期に進路目標を設定させ、進路実現に向かう意欲と態度を育てる。
② 進路決定に必要な情報の提供や面談等より、生徒の進路実現に向けた意欲を喚起し、日々努力する習慣を身につけさせ、目標実現に向けて必要な学力を獲得させる。

(2)学力保障 ① 習得・活用・探究を意識した授業改善に取り組み、生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の学力を伸ばす。
② 「わかる・力がつく」授業を行い、自主的な学習を促すとともに主体的な学習に取り組む態度を育成して、やりきる力と個に応じた能力が身につくようにする。
③ スーパーサイエンスハイスクール事業（以下「SSH」）への取組を通して掘り起こした興味・関心・疑問を研究課題に深化させ、科学リテラシーと創造性の素地を育てる。

(3)資質保障 学習、部活動、生徒会活動、学校行事等に主体的、積極的に取り組ませることにより「益高生に身につけさせたい資質・能力」を育成する。

Table with 7 columns: 評価項目, 領域, 中期目標, 短期目標, 成果・取組指標, 自己評価達成状況, 評価, 学校関係者評価考察, 改善策. The table contains detailed evaluation data for various school activities and goals.